

2013年度 第2回放射化分析研究会 拡大幹事会 議事メモ

日時：2013年10月30日（京大炉専門研究会終了後） 16:50～18:00

場所：京都大学原子炉実験所、事務棟大会議室

出席者：松尾、三浦、大澤、笹島、海老原、高宮、大浦、大槻、関本

1. 松尾代表幹事より、書類2枚（①2013年第1回拡大幹事会の議事メモ及び、②放射化分析研究会総会の議事録）が配布され、内容を確認し、①の「10/30に京大炉で行われる拡大幹事会の話し合い内容に関して、」にある話題について、話し合いが進められた。

2. 「分析展2014をどのように行うか」

とにかく、3年間続いた方法を変える。聴衆を増やして、専門研究会形式の発表会でも良い。各研究のメディアへ取り上げられた例をブース等で紹介する。（例えば、石橋さんの研究がNHKで取り上げられた放送分など）

講演者への旅費の補助を、研究会の特別会計で行うことも視野に入れる。

3. 「会誌の内容について」

話題提供の呼びかけを、大浦幹事があらためて行うが、以下のような内容（案）が出た。

・10/30の専門研究会の発表内容（特に大浦、三浦、大澤らによる）をそのまま解説記事にするのでもよいのではないか。

・上記の他、佐野幹事より、すでに話題提供がある。

・Geological explorationの海域版、陸域版に関する話題もよいのではないか。

各幹事はネタ切れしないよう、編集者の呼びかけにはレスポンスすること。

4. 「JRR-4廃止に関して」

笹島氏より、詳細な話（歴史、現状、今後の見通し）があった。

危機意識をもって、廃止反対要望書をJA3として出す。（松尾代表幹事）ちなみに放射化学会も、海老原 日本放射化学会会長が要望書を出す予定。もしも、「JRR-3に廃止論がでたら・・・」ということも考えておかなければならない。また、その要望書は、原子力機構の理事長宛てか？政務官宛てか？

廃止なら、代替案（新たな中性子源？）を求める。次期炉の検討はどのようになっているか？

5. 「開放研に関して」

時間切れで、話し合いは、ほとんど行われず。次回に継続検討。